

はてなの缶詰

病院スタッフの名札に付いているハートのシールは何ですか？



BLS 講習

兵庫医科大学病院で働くスタッフは「教職員証」と呼ばれる名札を付けていますが、この教職員証に「ハートのシール」が貼られたスタッフがいるのをご存じでしょうか？
実はこのシール、ある特定の人しか付けることができます。シールには、いったいどのような意味があるのでしょうか？

BLS講習を 受講した証

兵庫医科大学病院に勤務するスタッフが教職員証に付けているシールは、院内で定期的に実施している「BLS講習を受講した」という証。BLSとは、Basic Life Support（一次救命処置）の略で、心臓が止まることで急に倒れたり、窒息を起したりした人に対して、その場に居合わせた人が、救急救命士や医師に引き継ぐまでの間に行う応急処置のことを意味します。たとえば「患者さんが院内の廊下で倒れて、呼吸をしていない」などの緊急事態が発生した場合、ハートのシールを付けたスタッフが近くにいたら、すぐに一次救命処置を開始し、医師につながることもできます。

いざという時に 欠かせない迅速な対応

容態が急変した傷病者を救命するためには、BLSをはじめとした次の4つの対応を迅速に行うことが、生存率や社会復帰率に良い影響を与えると考えられています。

- (1) 心停止の予防：生活習慣の改善などでリスクを低下させる。初期症状に気づき、救急車を要請する。
- (2) 早期認識と通報：心停止の可能性があれば大声で応援を呼び、119番通報やAEDの手配を行う。
- (3) 一次救命処置(BLS)：心肺蘇生法(心臓マッサージやAEDの使用)で、救命のチャンスを高める。
- (4) 二次救命処置と心拍再開後の集中治療：医師等が専門器具などを用い心臓の動きを取り戻す。

当院で実施しているBLS講習では、救命救急センターで勤務している認定看護師などが講師を務め、「傷病者の反応確認」「緊急通報の方法」「心停止の認識方法」などを座学で、「胸骨圧迫」と「人工呼吸」の一連の流れや「AEDの使用法」については実技を交えて、看護師やユメディカルスタッフ、事務員などの受講者が実際に起こりうる事例を想定して学んでいます。

今はまだ、病院のすべてのスタッフが受講しているわけではありませんが、今後は受講者を増やし、患者さんにとって安全な環境となるように努めていきます。